

施策5 持続可能なまちづくりに資する道路整備

目指す姿

- 都市部と中山間地域のそれぞれの特性や強みを生かし、住みやすく個性ある豊かな地域になっています。

ひろしま未来チャレンジビジョン (P115) より

道路の役割

- 通勤・通学や買い物, 通院など日常生活を支えています。
- 地域と拠点間の円滑な移動を支え, 都市的機能の享受を可能とします。

現状と課題

- 井桁状高速道路ネットワークの形成により移動時間が大幅に短縮され, 県内全域から概ね2時間以内で広島市へのアクセスが可能となっています。
- 都市部では慢性的な渋滞により, 公共交通機関の定時性確保や騒音・振動・温室効果ガスへの対策が求められています。
- 中山間地域では, バス路線など日常生活を支える道路においても狭隘区間が存在します。

都市部と中山間地域の課題

●都市部の渋滞

路線バスのルート上に96箇所の主要渋滞箇所があります。

【海田町】



国道2号 (海田大正交差点)

【福山市】



(主)福山沼隈線 (洗谷交差点)



バスが未改良区間を運行している延長は約56km。

●中山間地域のバス離合困難

【三次市作木町】



国道375号

【呉市倉橋町】



(主)戸倉橋線

凡例

主要渋滞箇所 (96箇所)	●
高速道路	— (blue)
一般国道	— (red)

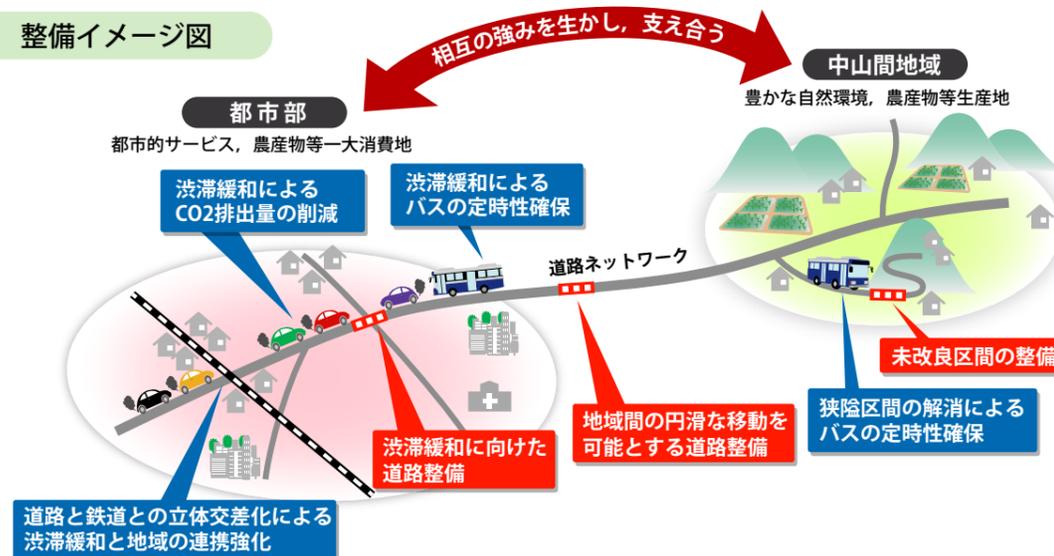
用語説明

中山間地域…地理的・社会的条件などが不利なため, 人口減少や高齢化が進行している過疎・離島などの地域。
生活交通…通勤・通学・通院・買物など, 日常生活に必要な不可欠な交通。
都市的機能 (サービス)…文化, 教育, スポーツ, 医療・福祉, 商業, レジャーなど住民生活に関連する多様なサービス。
主要渋滞箇所…交通の集中等により渋滞が発生している箇所。平成24年に県内で96箇所が選定されている。

取組の方向

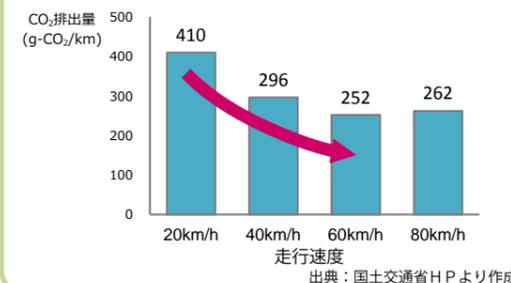
- 渋滞を緩和する道路の整備と市街地を一体化する鉄道との立体交差化
⇒主要渋滞箇所等の対策を進め, 円滑な交通と良好な住環境を創出します。
- 豊かな地域づくりを支える道路の整備
⇒魅力ある地域環境の創出を目指し, 道路整備により地域課題の解決に貢献します。

整備イメージ図



連続立体交差化のイメージ

渋滞緩和とCO₂削減の関係



道路整備による渋滞緩和
 ↓
 渋滞が緩和されることで走行速度が高くなる
 ↓
 走行速度が上がることで, CO₂排出量が減少
 ↓
 地球温暖化防止に貢献

指標

指標名	現状	目標
地域課題を解決し豊かな地域づくりに貢献します。		
広島県における自動車のCO ₂ 排出量	(H27) 4,464 千トンのCO ₂ 換算	(H32) 4,460 千トンのCO ₂ 換算
現況1車線バス路線区間延長 (交通量500台/日以上)	(H27) 39 km	(H32) 36 km
合併建設計画区間の改良済箇所 (全体443箇所)	(H27) 268 箇所	(H32) 308 箇所

合併建設計画…合併後の市町の基本方針や公共施設の整備などについて定め, 将来のビジョンや施策の方向性を示したものの。